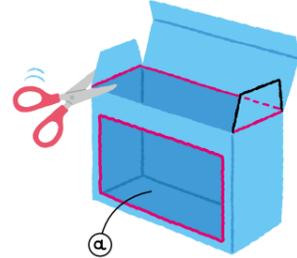


〈作り方〉

① 箱の上のふた部分と前面を、図のように(赤い線)切り取る。

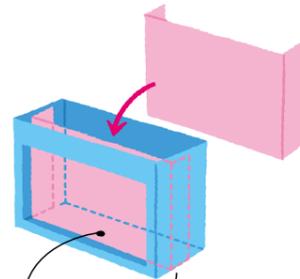


前面は左右・下1cmぐらゐづつ残して四角く切り抜く(上は飾り用に多めに残す)

●準備するもの●

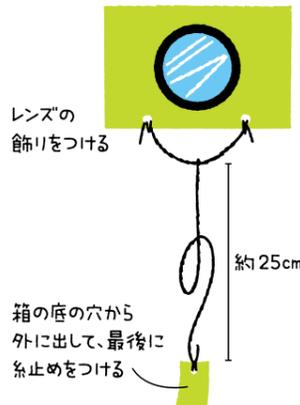
クッキーやアイスクリームなどの箱・厚紙・タコ糸・色画用紙・サインペンや色鉛筆・キリ・カッターやはさみ・のり

② 厚紙を箱の高さより低めに切って仕切り板を作り、左右をのり付けして箱の中にセットする。底にキリなどで穴を開ける。



底の穴の位置は仕切り板より後方に 約1.5cm

③ シャッターを作る。切り取った②よりひと回り大きめサイズに厚紙を切り、2カ所穴を開け、タコ糸を図のように結ぶ。

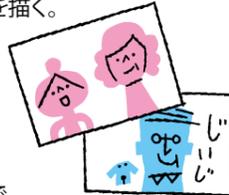


レンズの飾りをつける

約25cm

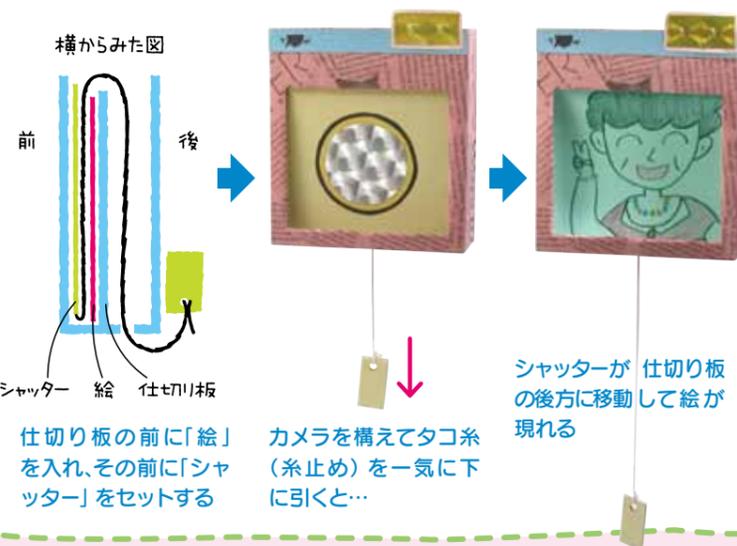
箱の底の穴から外に出して、最後に糸止めをつける

④ 色画用紙をシャッターと同じくらいの大きさに切り、写真にする絵を描く。



⑤ 本体やシャッター(③)に、色画用紙などでフラッシュやレンズなどを飾りつけ、カメラらしく仕上げる。

〈カメラの撮り方〉



横からみた図

前 後
 シャッター 絵 仕切り板

仕切り板の前に「絵」を入れ、その前に「シャッター」をセットする

カメラを構えてタコ糸(糸止め)を一気に下に引くと...

シャッターが仕切り板の後方に移動して絵が現れる

お菓子箱カメラで
 じいじとばあばとハイ! チーズ

敬老の日をお祝いしようとして、お兄ちゃんはお菓子の箱でなにやら工作を始めました。妹には、「この紙にじいじとばあばの絵を描いて。写真にするんだから」とテキパキと指示を出していました。お兄ちゃんが作ったのは、大きく箱をくり抜いた、ちよつと旧式(?)のカメラでした。その中に妹の描いた絵を入れて、どうやら完成した様子です。

さっそく、お兄ちゃんとおばあちゃんのところに行き、「写真を撮ってあげる」とカメラを構えました。「カシャリ」といってシャッターのひもを引くと、あの妹の描いた絵が現れ、お兄ちゃんとおばあちゃんはうれしそうに目を丸くしています。

お兄ちゃんも、お兄ちゃんやおばあちゃんと同じサイズの絵を描いたりして、みんな楽しく何枚も写真を撮りました。その写真のプレゼントが、二人の大切な宝物になったのはいうまでもありません。

